

八潮新校基本計画検討委員会（第1回）議事録

日 時 令和4年12月19日（月）15：00～16：20

場 所 八潮南高校会議室

出席委員 栗藤委員長、橋副委員長、澤田副委員長、木戸場委員、鈴木委員、土谷委員、永江委員、内田委員、長谷川委員、鹿野委員、小森委員、横山委員、大場委員、三澤委員、小泉委員、青木委員、佐野委員、藤倉委員

事務局 魅力ある高校づくり課 坂本、高辻

協 議 「八潮新校基本計画検討（案）」について

○主な意見・質問・回答

No.	主な意見・質問・回答
1	生徒の自主性を育むこと、また地域との関わりについては、八潮南高校が日頃から重要視しているところであり、新校でもぜひ取り入れていただきたいと考えている。
2	新校にどのような貢献ができるかと考えたときに、八潮高校の普通科としてのノウハウや指導実践というところが大事になってくるのではないかと感じた。八潮高校は社会の中で健全に生きる力を育てる学校として、清純な心と真摯な態度を育み、基礎的・基本的な知識・技能の習得に取り組んできた。八潮高校がこれまで培ってきたものを、新校にも引き継いでほしいと考えている。
3	教科指導においては、多様な選択科目を設置し、生徒が興味・関心に応じて選択できるとよいと考える。
4	学び直しの機会の充実を図ることや個に応じた指導の重要性は、新校においても変わらないのではないかと考える。
5	八潮南高校の生徒指導は、社会人として必要なモラルやマナーを身に付けさせる、ということがベースになっている。新校でもぜひ継続してほしい。 また、八潮南高校は現在、通級指導を行っている。様々な事情を抱えた生徒が入学してくる中で、多様な価値観に触れ、豊かな人間性を養っていければと考える。教育相談の充実も非常に大切である。
6	生徒指導という括りとは少し異なるかもしれないが、「道徳」のような時間の設定や、ビジネスにも通じる倫理観ということで、高校生がテーマに沿って議論できるような場面を設定していくことが有効ではないかと思う。

7	新校では、ぜひインターンシップを取り入れたい。地域社会とのつながりをつくることができ、生徒の興味・関心を高めることにもつながると思う。
8	ビジネスを学ぶ学校として株式会社を設立するノウハウ等を学校で指導するからには、なぜそういったことが必要なのか、ということも考えさせる必要がある。起業するということは、新しいビジネスモデルを社会に提供する、現在ない会社に就職するということになる。
9	八潮南高校には、隣接県協定を結んでいる千葉県流山市、松戸市から、毎年1～2人の生徒が本校に入学している。この地域には、商業系の高校が1校しかないため、商業系の高校に進学したい生徒がいたら、ぜひ本校に入学していただくよう学校訪問を行っており、引き続き生徒募集を行えると良いと思う。
10	最近、タブレット端末の導入等、教育を受けるためにたくさんのお金がかかっている現状がある。そのような中で、今あるもので何ができるのか、ということを考えていく必要があるかと思う。精査して必要経費の見直しと最小化を図り、金銭面をケアしていくことが、生徒募集につながるのではないかと思う。
11	魅力ある学校とは、まずは進路がしっかりしていることだと考える。それから安全な学校であること、これは生徒指導が徹底しているということである。保護者からすれば、子供が安全に通える、また3年間の中でしっかりした技術、技能、学力を得て、しかるべき進路に進めてくれることが大切だと思う。さらには、部活動を充実させていくことも、魅力につながると考える。
12	令和6年度から新校開設委員会で詳細を決めていくというスケジュールについて、間に合うものなのか。八潮南高校は老朽化が進んでいるところもある。基本計画を定めた後になって、この部分は直せないとか、起業家を育成するために必要な教材について、準備できるかわからないとなると、見通しが立てにくい。 (回答) 委員会の開催スケジュールは、第1期実施方策における日程を参考にしている。新校開設委員会の設置は令和6年度からとなるが、教育課程等については、今からでも考えていくべきものであると考えている。